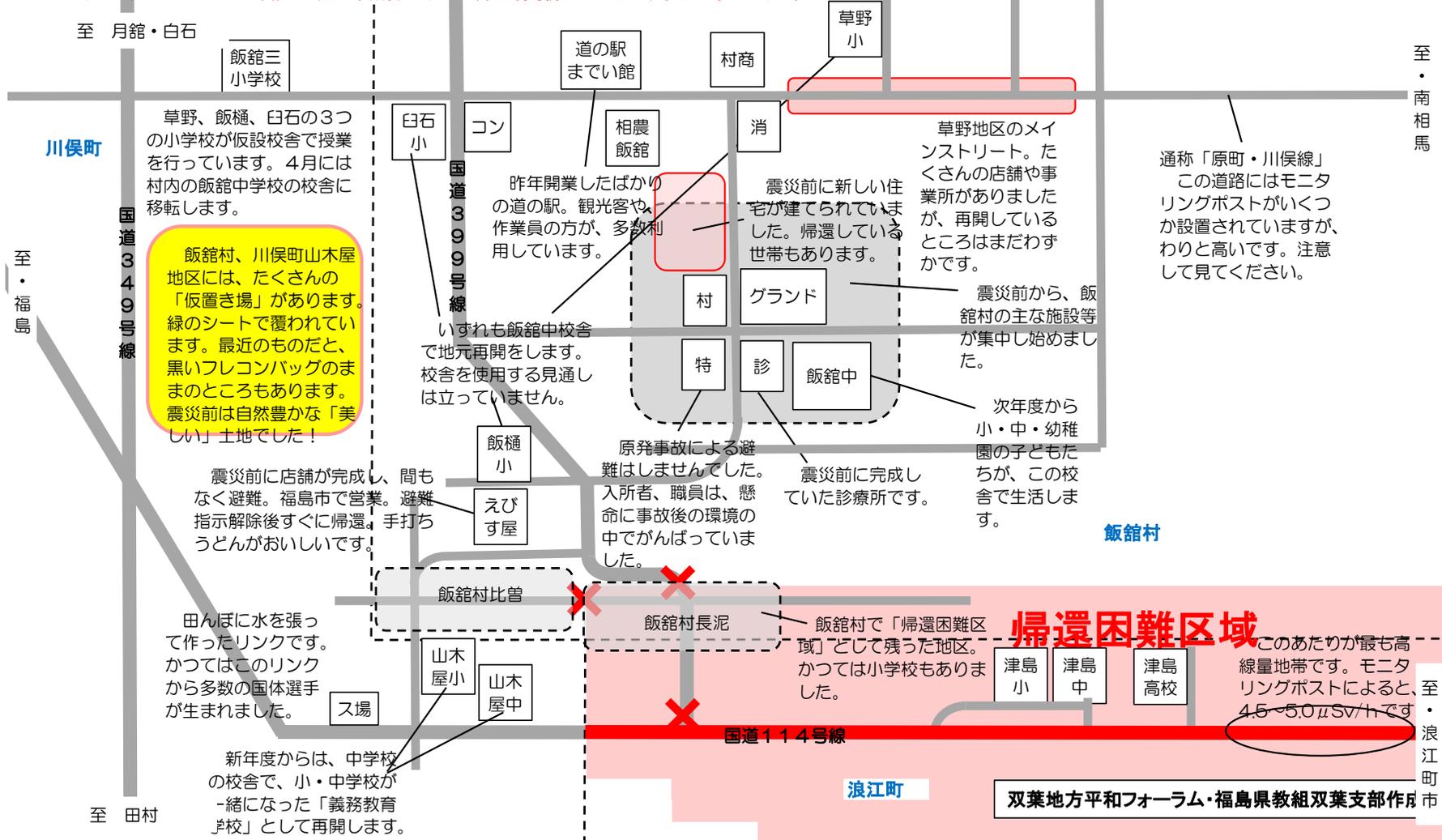


【注意】この図は視察ポイントを案内するものです。実際の地図とは大きく異なります。カーナビや地図などで確認してご活用ください。さらに、このファイルは、修正・追加。削除しながら、随時更新していきます。ご了承ください。



飯舘村、川俣町山木屋地区には、たくさんの「仮置き場」があります。緑のシートで覆われています。最近のものだと、黒いフレコンバッグのままのところもあります。震災前は自然豊かな「美しい」土地でした！

震災前に店舗が完成し、間もなく避難。福島市で営業。避難指示解除後すぐに帰還。手打ちうどんがおいしいです！

田んぼに水を張って作ったリンクです。かつてはこのリンクから多数の国体選手が生まれました。

新年度からは、中学校の校舎で、小・中学校が一緒になった「義務教育学校」として再開します。

いずれも飯舘中学校舎で地元再開をします。校舎を使用する見通しは立っていません。

昨年開業したばかりの道の駅。観光客や、作業員の方が、多利用しています。

原発事故による避難はしませんでした。入所者、職員は、懸命に事故後の環境の中でがんばっていました。

飯舘村で「帰還困難区域」として残った地区。かつては小学校もありました。

帰還困難区域

このあたりが最も高線量地帯です。モニタリングポストによると、4.5~5.0μSv/hです。

草野地区のメインストリート。たくさんの店舗や事業所がありましたが、再開しているところはまだわずかです。

震災前から、飯舘村の主な施設等が集中し始めました。

次年度から小・中・幼稚園の子どもたちが、この校舎で生活します。

震災前に新しい住宅が建てられていました。帰還している世帯もあります。

震災前に完成していた診療所です。

通称「原町・川俣線」この道路にはモニタリングポストがいくつか設置されていますが、わりと高いです。注意して見てください。

双葉地方平和フォーラム・福島県教組双葉支部作成